

# 三重県ふるさと応援寄附金

## 令和元年度にご寄附いただいた金額 17,263,158円

皆さまからいただいたご厚意は、県政の発展のため大切に使用させていただきました。心よりお礼申し上げます。今後も、三重県への応援をお願いいたします。

## 寄附金活用先事業の令和元年度実績

### とこわか募金(三重とこわか国体・三重とこわか大会基金)

5,392,500円

大規模大会での活躍が期待できる三重県選手の強化活動への支援やボランティア活動・県民運動等、三重とこわか国体・三重とこわか大会の開催経費の財源とするため、三重県国民体育大会・全国障害者スポーツ大会運営基金に積み立てました。

### 動物愛護の推進 4,013,000円

平成29年5月に開所した三重県動物愛護推進センター「あすまいる」を中心に、多くの方に「動物愛護の推進」に関心を持っていただくため、動物愛護教室等の活動や犬猫の譲渡事業を行っています。その結果、多くの犬・猫の譲渡(犬150匹、猫298匹)につながり、殺処分数が初めて100匹を下回るなど、殺処分ゼロに向け前進することができました。

### ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 1,000,000円

令和2年度以降、「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例」に基づき、ユニバーサルデザインのまちづくりを総合的、計画的に進めるため、啓発活動や人材育成に活用させていただく予定です。

### 地域の道美化事業募金 490,000円

三重県が管理する道路の舗装修繕や防草対策などの維持管理業務に充当し、快適かつ安全な道路空間の確保に活用しました。

(左の写真は、県管理道路の路面補修をおこなったものです。)

### 防災ヘリコプターによる消防防災活動の充実 100,000円

県民の生命・財産を守るため、緊急運航として救急活動・救助活動・火災防御活動・災害応急対策活動で68件の運航がありました。また、災害予防運航等として自隊訓練・防災訓練等で139件の運航がありました。

### 自然体験等、農山漁村と都市住民との交流促進 100,000円

三重県が誇る豊かな自然を「体験」という形で生かし、国内外から多くの人を呼び込み交流の拡大を図るため、自然体験活動団体等のネットワークの強化や、自然体験活動に携わる人材の育成を行うとともに、アウトドア関連イベントへの出展など活動団体や企業等と連携した情報発信に取り組みました。

### 三重の川・海美化事業募金 80,000円

三重県が管理する河川の堤防補修の維持管理業務に充当し、安全で快適な利用環境の確保に活用しました。(左の写真は、河川の堤防補修をおこなったものです。)



# 寄附金活用先事業の令和元年度実績



## 自立と社会参画の実現！特別支援教育の教材・教具の充実

72,000円

特別支援学校に在籍する児童生徒の学習活動の充実を図るため、教材・教具を購入し、自立活動等の授業で活用することで、児童生徒の主体的な学習やコミュニケーション手段の広がりにつながる取組を行うことができました。



## 横断歩道等塗り替え整備事業 50,005円

交通事故から子供や高齢者を守るため、摩耗の度合いが高い横断歩道等の塗り替えを行うなど、交通安全施設の補修整備費に充当しました。



## こどもスマイルプラン(みえの出会い支援・子ども応援プロジェクト)

50,000円

子どもから大人や友達などへ、大人から子どもへ「ありがとう」の気持ちを伝え合う機会を提供することで、お互いの信頼関係を構築し、家庭をはじめ学校や地域の中で子どもが安心して自分らしく育つことを期待して一行詩を募集し、コンクールを行いました。応募件数は、過去最高となる16,435作品いただきました。



## 災害時のボランティア活動への支援 39,000円

令和元年東日本台風で大きな被害を受けた長野県や千葉県で、災害廃棄物の搬出や屋根のブルーシート張りなどの重機等を活用した復旧活動を行う団体に対して補助金を交付し、災害ボランティア活動を支援しました。



## 三重県総合博物館の企画展示等の充実 10,000円

「ボタニカル・デザイン—植物のかたち、その観察—」、「開館5周年記念特別展 この男がジブリを支えた。近藤喜文展」、「開館5周年記念特別展 三重の仏像～白鳳仏から円空まで～」と、「1960年代の熱気を未来につなぐ～出来事でふりかえる60年の歩み～」と、4つの企画展を開催したほか、盲学校と連携した事業を実施するなど、三重の自然や歴史・文化にふれ、学び、交流する場を提供しました。

## 犯罪被害者等支援事業 9,005円

犯罪被害者等支援事業の一環として、犯罪被害による着衣の破損や、証拠採取等のために警察に着衣を提出する必要がある犯罪被害者のための代替衣類の購入費に充当しました。



犯罪被害者等支援  
シンボルマーク

## 自由記入欄等で使い道のご指定をいただいた寄附 1,306,648円

- ・ひとり親家庭の支援 1,000,000円
- ・「みえの食」の将来を担う人材の育成 170,000円
- ・ヘルプマークに関わる事業 50,000円
- ・台風19号の災害復旧 26,062円
- ・県立高等学校の校舎修繕・運営費（2校分） 40,000円
- ・三重県内のスポーツ競技の活性化 15,000円
- ・あすまいるへの寄附 5,586円

## 使途のご指定のない寄附 22,000円

# 令和元年度クラウドファンディング活用事業の実績

特定のプロジェクトを実施するために、期間を定めて寄附の募集を行った事業です。



## 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術 2,678,000円

〈令和元年6月12日～9月30日〉

繁殖力の強い猫の野外での繁殖を防ぎ、一代限りの命を見守る活動として、飼い主のいない猫を捕獲し、不妊・去勢手術をして元の地域に戻す活動をしています。

令和元年度も目標を大きく超える886匹の猫に不妊・去勢手術を行うことができました。

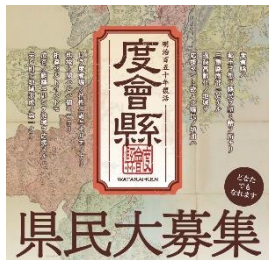
あなたにしか救えない命があります



## 知ってほしい骨髄バンク！ 広げようバンクの輪！！ 521,000円

〈令和元年7月19日～令和2年3月31日〉

骨髄バンクについての正しい知識の普及啓発および骨髄提供しやすい環境づくりの推進を目的として、骨髄バンク普及啓発資材や県内企業に向けて骨髄バンクドナー休暇制度の導入を促すチラシ等を購入、作成し、県民や県内関係機関に配布しました。



## 関係人口創出事業「度会県プロジェクト」 516,000円

〈令和元年7月18日～12月31日〉

明治時代に実在した「度会県（わたらいけん）」をバーチャル上に復活させて三重県南部地域の人々と多様に関わる「度会県民」を募集する度会県プロジェクトについて、県民参加型プロジェクトや度会県民の集いを開催しました。

## 「夢追人 吉田沙保里大賞」の表彰式 410,000円

〈令和元年9月27日～11月1日〉

令和元年度は第6回「夢追人 吉田沙保里大賞」表彰式を11月2日に開催し、全国枠としてスポーツライミング競技の森秋彩選手、指導者をはじめ、県内6名の選手及び指導者を表彰しました。今後、日本のトップアスリートとして、全国大会やオリンピック等の大規模大会での活躍が期待されます。



## ヘルプマークでつながるおもいやりの絆づくり 210,000円

〈令和元年6月10日～令和2年1月31日〉

全国で初めての試みとして、ヘルプマーク普及のため、クラウドファンディングによる寄附金募集を実施し、ヘルプマーク（ストラップ）等の作成費用の一部に充てさせていただき、ヘルプマークを必要とする方々に配布することで、「ヘルプマークでつながる思いやりの絆づくり」の推進に取り組みました。（左の写真はヘルプマーク（ストラップ）及びヘルプカードです。）



## 「こんなにあるんだ みえの鉄道展」の内容を充実したい！ 102,000円

〈令和元年9月11日～10月16日〉

三重県には多くの魅力あふれる鉄道があり、私たちの生活や企業活動を支えてくれています。一人ひとりが鉄道に関心や親しみをもち、実際に利用していただくことを目的として、10月26日（土）にハイトピア伊賀において、啓発・体験イベント「こんなにあるんだ みえの鉄道展」を開催しました。キャラクターとのふれあいやプラスチックレール鉄道の展示などを実施し、約1000名の方々にご参加いただきました。



## 熊野古道世界遺産登録15周年フィナーレイベント「KUMANO KODO Festa」 92,000円

〈令和元年10月18日～12月20日〉

熊野古道世界遺産登録15周年フィナーレイベント「KUMANO KODO Festa」を12月21日に熊野市文化交流センターにおいて開催しました。当日は、地元の小・中・高校生による地域の魅力の体験報告、次世代継承宣言に加え、パネルディスカッション等を実施し、約200名の方々にご参加いただきました。

